



五淋散 (ごりんさん)

【処方コンセプト】尿トラブルのファーストチョイス。

排尿痛、残尿感、頻尿などで小便の色が濃く（黄赤色）、1回量が少ない方に用いる。

◆五淋散の名前の由来は五種類の淋病（五淋）を治すところからきている。淋病とは頻尿・排尿痛・排尿の切迫した状態などを示す言葉で、性感染症の淋病とは異なる。五淋とは、石淋（尿路結石）・気淋（前立腺肥大、神経性頻尿）・膏淋（尿がクリーム、米のとぎ汁状になるもの）・労淋（過労からくる排尿異常）・熱淋（急性の尿路感染症）のことであり、五淋散は様々な尿のトラブルに対処することができる優れた処方である。

◆原典の『和剤局方』には「腎気不足し、膀胱に熱有り、水道通ぜず、淋瀝宜しからず、出ること少なく、起ること多く臍腹急痛し、蓄作時に発症し、労倦すれば即ち発するを治す。或は尿豆汁の如き、或は砂石の如く、或は冷淋膏の如く、或は熱淋便血するは並びて皆之を治

八味地黄丸	○	○			○	○							○	○		○	○	8
-------	---	---	--	--	---	---	--	--	--	--	--	--	---	---	--	---	---	---

処方名	類方鑑別
五淋散	膀胱炎、尿道炎のファーストチョイス。無菌性で神経性のものにも。
猪苓湯	急性の膀胱炎。尿路結石、前立腺肥大症、腎炎の血尿タイプにも。
五苓散	腎炎、ネフローゼの浮腫。タンパク尿など炎症時には小柴胡湯と併用。
八味地黄丸	前立腺肥大症、糖尿病、老化による夜間の頻尿、精力減退にも。